

経営理念と使命

メディパルグループは「医療と健康、美」の流通を安定的に支える企業として、必要な商品をお届けし、商品を作る方々とそれを待ち望む方々の思いをつなぐ役割を担っています。

さらに、サプライチェーン全体の最適化を目指すために、無駄がなく有事にも強い物流を追求し具現化する一方で、社会的価値の高い事業を開発・育成するなど、さまざまなイノベーションに取り組んでいます。

いつの時代においても、社会やステークホルダーのご期待にお応えできる、安全で安定した価値ある流通をご提供する卸として、当社グループは「流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。」の経営理念に沿って、さらなる進化を続けていきます。

シンボルマークの紹介



手をつなぐ人々と、調和をイメージしたデザインで、「協調・共生」と「生きるための力強さ」を表現するとともに、お得意様や取引先と手を携えて成長する企業、多様な方向へ発展していく企業、人間尊重の姿勢を持った企業であることを表現しています。

経営理念
流通価値の創造を通じて
人々の健康と社会の発展に貢献します。

- 経営方針
1. 社会から信頼される活力ある企業文化の創造
 2. 株主価値を高める経営とコンプライアンスの徹底
 3. 誠実で自由闊達な社風の醸成と創造性に富む人材の育成

企業活動指針

遵法精神に則り、正しい競争をすることは、
全従業員の質的水準を上げ、企業に変革を起こし、
お客様の喜びにつながり、さらなる企業価値向上となる。

サステナビリティ方針

未来へつなごう「元氣と、かがやき」



医療用医薬品等
卸売事業



化粧品・日用品、
一般用医薬品
卸売事業



事業フィールド
医療と健康、美



動物用医薬品・
食品加工原材料
卸売等関連事業

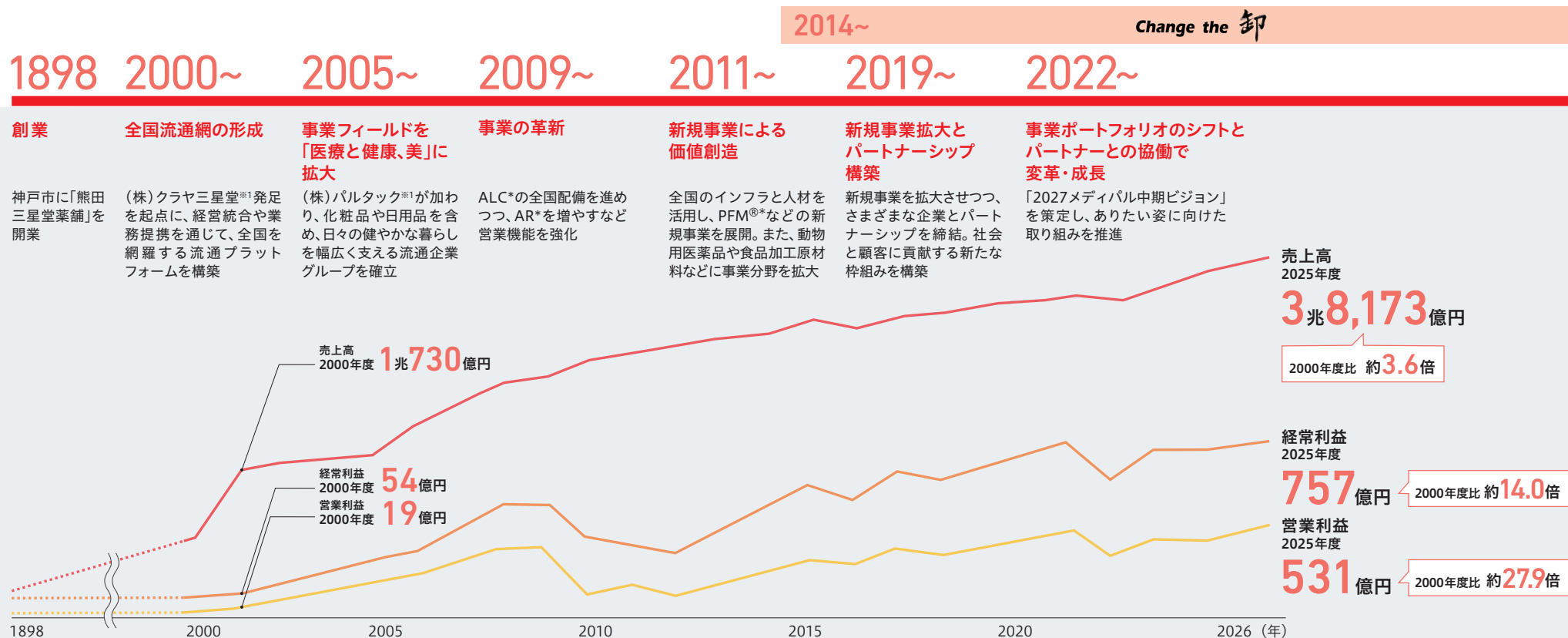


価値創造のあゆみ ～流通の原点から、「医療と健康、美」の未来へ～

私たちが長年培ってきた「卸」としての確固たる基盤は、日々の地道な努力と挑戦の積み重ねによって築きあげたものです。

私たちは、一つ一つの着実な歩みを偉大な価値創造へと昇華させ、大きなイノベーションを起こすことで、「医療と健康、美」の未来を切り拓いています。

	2000年～	2005年～	2009年～	2011年～	2019年～	2022年～	2025年～
社会の動き	・介護保険制度スタート	・介護保険法改正により 予防重視型システムへ	・リーマンショックの影響 ・新型インフルエンザの流行	・東日本大震災 ・防災・エネルギー政策の 見直し	・働き方改革関連法の施行 ・新型コロナウイルス感染症 の流行	・リスキングの推進 ・デジタル人材の育成・強化	・中東情勢緊迫化による影響 ・AIなどデジタル技術の本格的な社会実装 ・「2025年問題」を通過点とした人口動態の構造変化
社会課題	・年金・医療・保険制度の 持続可能性 ・慢性疾患や 生活習慣病の増加	・医療を担う人材の確保や 地域医療体制確保 ・医療費抑制と 質の高い医療の両立	・雇用不安と 非正規労働者の増加 ・新型インフルエンザ対策 ・医師不足・勤務医の過重労働 ・医療費の増加と財政圧迫	・被災地の医療・ 福祉体制の再構築 ・災害時の医療インフラの 脆弱性露呈	・医療費の抑制 ・医療ICT (オンライン診療など) の推進 ・予防医療の推進	・医療現場の逼迫・ 医療従事者の過重労働 ・ワクチン接種体制の強化 ・新型コロナウイルス感染症 対策の継続 ・DX(医療のデジタル化)	・「物流クライシス」の顕在化と持続可能な供給網の 再構築 ・地政学リスクの常態化とサプライチェーンの脆弱性 ・気候変動による物理的リスクの増大と災害の激甚化



※1 社名は当時のもので記載

*用語説明は、P.75の用語集をご参照ください

メディopalグループの概要

連結売上高

3兆8,173億円

連結営業利益

531億円

連結経常利益

757億円

連結子会社数

19社

連結従業員数

13,024名^{※1、2}

総拠点数

575カ所

創業年数

128年

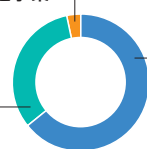
連結売上高構成比

動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業

3.1%^{※3} 1,173億円

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

32.4%^{※3} 1兆2,378億円



医療用医薬品等卸売事業

64.6%^{※3} 2兆4,661億円

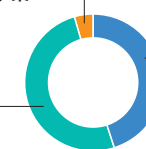
連結営業利益構成比

動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業

4.4%^{※3} 23億円

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

49.7%^{※3} 264億円



医療用医薬品等卸売事業

45.7%^{※3} 242億円



医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品をはじめ、医療機器・医療材料・臨床検査試薬など、未病から診断・検査・治療・投薬に至るまでの医療に関わる商品を、14カ所に設置された高機能物流センター ALC*を中心に、全国の病院・診療所や調剤薬局などに安定供給しています。また、約2,000人を超えるMR*認定試験に合格した営業担当者(AR*)を有しており、お客様はもちろん、製薬企業の皆さまにも貢献できる体制があります。



化粧品・日用品、 一般用医薬品卸売事業

生活必需品をお届けする“卸”として、国内No.1の地位を築いています。現在、約1,000社から約50,000種類もの商品を仕入れ、ドラッグストア業態を中心にほぼ全ての主要小売業様(約400社)と全国販売網を確立し、サプライチェーン全体の最適化・効率化に努めています。激しい変化の時代、生活者の皆さまへ日々の暮らしを豊かにする商品をお届けし続けるため、中間流通業として培った「つなぐ力」を深化・進化させ、流通のイノベーションに挑戦しています。



動物用医薬品・ 食品加工原材料卸売等関連事業

動物用医薬品等卸売事業では、広域卸として国内唯一、全国規模の物流ネットワークと営業体制を構築しており、全国に33の営業拠点と5つの物流センターを展開しています。畜水産業およびコンパニオンアニマル^{※4}向けを中心に、動物用医薬品、サプリメント、飼料添加物、医療機器など多岐にわたる製品を供給し、コンパニオンアニマル領域におけるEC事業を行うシグニ(株)とともに、業界トップの販売実績をさらに加速させていきます。また、食品加工原材料卸売等関連事業では、食品素材・添加物、医薬品・化粧品原料、コーティング材料、工業薬品、電子薬剤などの製造・加工・販売・輸出入を手がける、研究開発型のメーカー兼専門商社としての機能を有しています。高い品質基準と提案力を強みに、社会に貢献する価値ある製品の提供を使命としています。

連結会社

(株)メディセオ、(株)エパルス、(株)アトル、東七(株)、SPLINE(株)、(株)MMコーポレーション、(株)アステック、メディエ(株)、(株)プリメディカ、(株)フローラディスカバリー、(株)エム・アイ・シー、(株)メディopal保険サービス、(株)プレサスクープ、(株)メディスケット

取扱品

医療用医薬品、医療機器、臨床検査試薬など

従業員数 9,667名^{※2}

連結会社

(株)PALTAC

取扱品

化粧品、日用品、一般用医薬品

従業員数 2,363名^{※2}

連結会社

MPアグロ(株)、シグニホールディングス(株)^{※5}、シグニ(株)
(動物用医薬品等卸売事業)
MP五協フード&ケミカル(株)(食品加工原材料卸売等関連事業)

取扱品

動物用医薬品、食品加工原材料、食品素材・食品添加物、化学製品材料など

従業員数 796名^{※2}

※1 持株会社である(株)メディopalホールディングスの社員を含む ※2 従業員数は就業人数であり、使用人兼務取締役は含まない ※3 セグメント間取引消去などを除いて算出しているため、合計は100%にならない ※4 伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人より密接な関係を保つような動物 ※5 MPアグロ(株)は2026年1月30日にシグニホールディングス(株)の全株式を取得し、同社を当社の連結子会社とし、また、同社の連結子会社であるシグニ(株)も、同日付で当社の連結子会社とした

*用語説明は、P.75の用語集をご参照ください

社長メッセージ



株式会社メディopalホールディングス
代表取締役社長

渡辺 秀一

「Change the 卸 Forever」のその先へ—— 卸の強みを生かしながら、 卸の枠を超えるという挑戦

❑ メディopalグループが創業より大切にしている使命、
信念とは何でしょうか。

一言で言うならば、それは「流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。」という経営理念そのものです。私たちは、人々の命や健やかな暮らしに必要な医薬品や日用品などを届ける、公共性の高い事業を担っています。**平時・有事を問わず、日々の暮らしを支え続ける社会インフラを止めない**という大きな使命を果たし続ける覚悟は、いつの時代にあっても変わることのない強い信念と言えます。

この思いを強く認識した出来事が2つあります。

1つ目は、1995年の阪神・淡路大震災の経験です。被災した中で従業員がすぐ前を向き、私たち卸は何のために存在するのか？今何をすべきか？を考え、速やかに供給活動を継続した、いわば有事対応の原点ともいえる出来事でした。

2つ目は、私が(株)メディセオの社長に就任した2004年に起きた物流センターのシステムトラブルです。目の前に商品があるのにお届けできない事態となり、お客様に多大なご迷惑をおかけしました。「必要な商品を、必要な量だけ確実にお届けする」ということがいかに大切なことかを痛感しました。

これらの経験を学びとして、リスクを未然に防ぐ意識と事業継続を可能とする機能を磨き続けてきました。その積み重ねが、今日の強靱な企業グループの体制構築へとつながっています。

**Q 業界を取り巻く経営環境が激変する中、
メディopal独自の先駆的・革新的な取り組みの歩みと、
たゆまぬ変革を続ける理由について教えてください。**

少子高齢化、労働力不足、物流問題、社会保障費の増大など、事業を取り巻く環境が構造的に変化する中、私たちは「2027メディopal中期ビジョン Change the 卸 Forever 〜たゆまぬ変革を〜」を掲げ、持続的な成長を目指しています。

5つの成長戦略（「海外への進出」、「予防・未病、アグロ・フーズ領域の事業拡大」、「デジタルを活用したビジネス基盤の強化」、「持続可能な流通の構築」、「地域医療における価値共創」）を進めており、それぞれ着実に成果を積み重ねています。具体的には、JCRファーマ（株）とのパートナーシップにより医療用医薬品の研究開発段階から投資を行うビジネスモデルを確立したり、（株）メディスケットを設立してシェアリングロジスティクスといった新たな物流の形を実現しています。さらに、予防・未病領域の事業を加速させる（株）プリメディカ、アグロ・フーズ領域の成長をけん引するMP五協フード&ケミカル（株）、コンパニオンアニマル^{※1}市場でのビジネスノウハウをもつシグニ（株）などが新たにグループに加わり、事業領域の拡大が加速しました。

これからの時代は、医薬品卸として成長を続けてきた過去と同じ発想とやり方では生き抜くことはできません。それゆえ、時代の変化を先取りし、果敢な挑戦と積極的な投資を続けることで未来への道を切り拓いていきます。変革には時間を要しますが、今進めている成長戦略の**取り組みはいずれも中長期的な収益の拡大につながっていくもの**と見込んでいます。

Q （株）PALTACをTOB（株式公開買付け）によって完全子会社化するという決断に込められた戦略的狙いについてお聞かせください。

（株）PALTACは、「美と健康」の領域で化粧品・日用品、一般用医薬品といった生活必需品

をお届けする卸として国内No.1の盤石な地位を築いています。これまでは上場子会社として独立した経営を行っていましたが、現在私たちを取り巻く事業環境は、超高齢化の進展や生活者の予防・未病への関心の高まりなど、かつてないスピードで変化しています。この変化をチャンスと捉え、グループ全体としてのヘルスケアにおける貢献度を最大化するために完全子会社化へ踏み切りました。

医療や介護の重心が地域や在宅へと移り変わる中、同社が持つ高い物流生産性とメディopalの厳格な品質管理ノウハウを融合させ、唯一無二の「ヘルスケア流通プラットフォーム」を構築します。両社の機能や人材の全てを結集することで、治療から予防、日々の健康に至るまで生活者の生涯を支える、持続可能で効率的な新しい供給体制の実現を目指します。

同社の完全子会社化によるグループ一体経営は、私たちが10年以上かけて「Change the 卸」を追求してきたことで実現できた形だと考えています。個別の会社の集まりから、**グループ丸となって生活のさまざまな場面を支える強固な企業集団となり、「医療と健康、美」の領域においてシームレスな価値提供**を行っていきます。

**Q イノベーションを起こし続けるために、
どのような人材育成や企業風土の醸成に取り組んでいますか。**

ビジネスモデルの変革を推し進め、未来を切り拓くために重要なのは人材です。

ヘルスケアの基本は人と人であり、リアルな接点でできているものであると考えています。人として大切な思いやりの心が無ければ、私たちのビジネスは成り立ちません。そういう意味では、**私たちが届けているものは、商品だけではなく、その先にいる患者さんや生活者のより良い健やかな暮らしを願う、従業員一人一人の思い**だと言えます。顧客の課題をいかに解決するかを自ら考え、そのために行動できる人材がメディopalには必要であり、物事の本質を見極め、主体的に問いを立てて果敢に行動できる「未来志向型人材」の育成に力を入れています。

※1 伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物

また、経営者自らが従業員と対話を重ねることを大切にしています。**トップが直接思いを語り、行動で示すことで、何をしようとしているかの意図が組織全体に伝わり、変化や失敗を恐れず挑戦する風土が根づいていく**のではないかと思います。

私の願いは、メディopalグループに集う全ての従業員が、自ら社会インフラを支えているという誇りと信念を持って働くことで幸福感を得られる会社にすることです。日々、さまざまな事象が起こる現場には、真摯にお得意様と向き合い、課題に挑み続ける姿、そして課題を解くために仲間同士で知恵を重ね合う姿が随所にあります。私たちは、人々の健やかな暮らしを支える従業員の姿やグループ各社がそれぞれの事業を通じて「医療と健康、美」を広げ、支え、つなぐ姿を「健康応援オーケストラ」と称しており、一人一人の音色を磨き（＝個性の進化）、重ねていく（＝組織の進化）ことがイノベーションの源泉となり、企業成長のための大事な礎になると考えています。

Q 持続的な成長とサステナビリティ経営に対する 考え方を教えてください。

社会に対して川上から川下まで、途切れることのない流通を提供し続けること自体が、当社グループが果たすべきサステナビリティの根幹です。私たちは社会課題の解決とグループの成長を両立させるため、温室効果ガス排出量の削減や共同輸配送の推進など、サプライチェーン全体での最適化を進めています。

こうした社会課題への取り組みは、決して当社グループだけで成し得るものではありません。ここで重要になるのが共存共栄の精神です。お得意様や志を同じくするパートナー企業の皆さまと手を取り合い、社会全体で共に栄えていく姿勢こそが、持続可能な未来を創り出します。

そして、この共存共栄を成り立たせる大前提が、社会からの確固たる信頼です。コンプライアンスの遵守は社会から信頼される企業としての基本姿勢であることを全従業員に徹底し、どのような状況下でも決して揺らぐことのない経営の軸として守り抜いていきます。



Q 資本政策、株主還元の考え方についてお聞かせください。

現在、メディopalグループは激変する環境の中で持続的な成長を確かなものとするために、新たな事業への投資を積極的に行っている局面にあります。そのような中で、資本政策に関する基本方針に基づき、資本収益性の向上と資本コストの低減を両輪とする事業・財務活動を通じて、企業としての持続的成長と企業価値の最大化に努めています。

株主の皆さまへの利益配分については、経営の最重要課題の一つと位置付けています。

この課題に対し、原則として配当性向を安定的に維持・向上させることと併せ、資金需要を総合的に見極めながら、資本効率の向上と株主の皆さまへの一層の利益還元を目的とした自己株式の取得・消却を弾力的に実施しています。

この考え方のもと、**今般の(株)PALTACの完全子会社化に伴い当社グループの利益水準が向上する見込みとなったことから、今後の財務状況等を勘案し、株主の皆さまへの還元をさらに充実させるために、配当予想を上方修正しました。**今後も、事業の成長による利益成長と適切な資本政策の実施により、株主の皆さまの期待に応えられるよう努めていきます。(詳細はP.51)。

Q これまでの歩みや数々の変革を通じて、メディopalグループは社会にとってどのような存在へと進化していくのでしょうか。今後の展望をお聞かせください。

心躍るような大きな夢を描き、実現に向けてすぐ行動に移す。課題があればさまざまな角度から修正をしながら、最初に抱いた信念を貫く。これが今のメディopalの姿だと感じています。

私たちの掲げる「Change the 卸」とは、社会インフラとしての役割を果たしつつ、**「卸の強みを生かしながら、卸の枠を超える」という挑戦**です。まだ誰も成し得ていない取り組みなので難易度は高いですが、投資というさまざまな事業の種をまき、質の高い人材が知恵を集めて大切に育てていくことで、少しずつ事業の範囲や仕事のあり方が変わりつつあることを実感しています。この変革を進めていくことが、より多くの人々のお役に立てる企業グループへと進化することにつながると信じて、自分たちの目指す道を歩んでいきたいと思います。

引き続き、ステークホルダーの皆さまの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



Special Feature

(株)PALTACの完全子会社化について

当社は、(株)PALTACの株式に対する公開買い付けを実施し、2026年7月7日をもって終了しました。

その後、スクイズアウト手続を通じて、同社を完全子会社化^{※1}しました。

構造的な事業環境変化の波が押し寄せている中、当社グループは、
グループの経営資源を一体的に活用することで、従来の流通モデルから、
社会インフラとして持続可能な「新しい供給体制」へ進化し、
「医療と健康、美」の領域においてシームレスな価値提供を行っていきます。

(株)PALTAC

創業 1898年
事業 化粧品・日用品、
一般用医薬品
卸売事業

事業基盤

- 小売業およびメーカーとの継続的な取引関係
- 全国規模の物流網

(株)PALTACは、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売業のリーディングカンパニーとして、同業界において、強い顧客基盤と顧客への優れた提案力をもとに確固たる地位を築いています。

構造的な事業環境の変化

高齢化により、医療・介護の重心が
病院内から「地域・在宅」へと移り、
「医療と生活」が融合

深刻な働き手不足や
物流コストの上昇

小売業界の再編加速による
取引先ニーズの変化

完全子会社化の目的

グループの経営資源を
一体的に活用

 メディパルグループ



期待されるシナジー効果

取引先および生活者への
ソリューション提供力の強化

次世代物流モデルの構築と
提供領域の拡大

データに基づく
事業運営の高度化

人材交流を通じた
人材基盤の強化



個別の会社の集まりとしてではなく、
グループ一丸となって

「生活のあらゆる場面」を
支える強固な企業集団へ

(株)PALTACの少数株主持分利益の取り込みにより、
当期純利益、EPS、ROEの
ポジティブな影響を見込んでいます。



※1 (株)PALTACは、1898年12月に創業し、2005年10月に当社の前身にあたる会社と経営統合し完全子会社となりました。
その後、独立性を確保し、独自の資金調達体制を構築して企業価値を向上させる目的で、2010年3月に再上場していました。

副社長メッセージ



株式会社メディopalホールディングス
代表取締役副社長

長福 恭弘

守り継ぐ想いと、変えていく挑戦で未来を拓く

今、メディopalグループは、これまでにない新しい卸像を目指す歩みの途上にあります。私たちの成長の歴史は、長くて深いものがあります。創業から128年という歳月の中で、一貫して大切にしてきたのは、経営理念である「流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。」にも込めている不変の想いです。長年にわたり育んできたお客様との絆や人脈、そして積み重ねてきた揺るぎない信頼関係——。この基本を何世代にもわたって受け継ぎながら「卸とは何か?」という徹底した本質の追求と行動でイノベーションを起こし、必要な商品を、必要な量だけ、確実にお届けするという社会インフラを築き上げてきました。

この確固たる社会インフラを基盤に、人々のかけがえのない願いである健やかな暮らしを支え続けるためには、私たちのビジネススタイルも守るべきものは守り、変えていくところは変えていかねばなりません。その歴史はまだまだ新しく浅いものですが、未来への成長の道を切り拓くべく「Change the 卸」を掲げ、私たちは2014年から挑戦を続けています。

希少疾患の治療法の確立、病気の早期発見を支える仕組み、そして未然に防ぐ予防ケアなど、医療・ヘルスケア領域には今なお満たされていないニーズが多く残されています。私たちはこれらの領域に目を向け、医療や健康の価値を高める機能を創造して社会へお届けすることを目指しています。事業を通じて一人でも多くの笑顔をつくることができたならば、それが私たちの幸せです。

こうした新たな価値を創造し、従来のビジネスや仕事のあり方を変えていくのは容易ではなく、それこそが未来に向けた大きな挑戦といえます。この挑戦を成し遂げるため、私たちはグループ全体の総力を結集し、経営資源を一体的に活用していきます。(株)PALTACの完全子会社化による卸機能の融合、アグロ・フーズ事業の成長・拡大、パートナー企業との連携強化など、会社や事業の垣根を越えた人材や機能の流動化を推し進めていきます。

来期には、新たなビジョンを構築して未来への道筋を示していきます。受け継いできた歴史と挑戦の志を胸に、これからもグループの持続的な成長と次なるステージへの飛躍に向けて、歩みを止めることなく私たちは前進していきます。